

大学の世界展開力強化事業 取組概要 東京医科歯科大学

【構想の名称】(選定年度24年度(申請区分(I)))

東南アジア医療・歯科医療ネットワークの構築を目指した大学間交流プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

医歯学領域において、国際的にリーダーシップのとれる自立型の若手研究者・医療者を養成する。

【構想の概要】

東京医科歯科大学が、タイのチュラロンコン大学、インドネシアのインドネシア大学およびベトナムのホーチミン医科薬科大学と連携してコンソーシアムを形成し、我が国が有する先進的な医療・歯科医療機器や材料、最新の医療・歯科医療技術等を基盤として、東南アジアにおいて大学間交流を推進してネットワークを形成し、我が国の医歯学領域の世界展開力を強化する取組である。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

○ 大学間交流の実績

東京医科歯科大学の留学生数は217名(2013年)と、保健医療系の留学生数は我が国で最も多い。また、海外での教育経験等のある教員が約30%おり、臨床修練指導医の資格を有する医師、歯科医師も多い。タイのチュラロンコン大学、インドネシアのインドネシア大学、ベトナムのホーチミン医科薬科大学は、東南アジアで医歯学領域の教育研究を牽引している大学であり、10年以上にわたる本学との学術交流の実績をもとに、本事業を実施している。

○ 医歯学領域の単位認定プログラム

本事業では、学部学生及び大学院生を対象とした「国際医歯学研究プログラム」と「国際医療・歯科医療研修プログラム」を実施している。チュラロンコン大学と本学の医学部間では、研究プロジェクトへの参加学生にそれぞれ単位を認定する制度をすでに開始している。歯学部歯学科では、平成25年度から、選択科目として「デンタルエクスターンシップ」を新設し、海外研修に参加した学生に事前研修も含めて単位を付与できる制度を整備し、実際に22名の学生に単位を認定することができた。

■ 交流プログラムの内容、今後の開始に向けた準備状況

タイでの歯科医療研修プログラム
に参加したTMDU学生



○ 学生交流プログラムの実施

チュラロンコン大学と本学の医学部間で、国際医学研究プログラムを実施した。学生は母国と派遣国の両国教員の指導のもとで、研究に従事した。

チュラロンコン大学、インドネシア大学、ホーチミン医科薬科大学と本学の歯学部間で、国際歯科医療研修プログラムを実施した。その内容は、基礎分野における研究体験実習、病院見学、臨床実習(予防処置)、地域保健のフィールド研修、実習コンテスト、歯科関連企業の見学、学生同士の相互交流等の実践的なプログラムである。また、寝食を共にしてグループワークや文化交流を行うグローバルリトリートをタイにおいて開催し、学術交流とともに学生が国際理解を深める活動を行った。今後、学生交流を行う対象大学や対象地域を拡大し、また、医学部保健衛生学科も本事業に参加できるように準備を進めている。

○ 国際学会合、評価委員会等の開催

海外で5回の国際セミナーを実施したことで、海外の学生や若手研究者に日本の最新の歯科情報、技術を伝えることができ、また、留学希望者からの問い合わせが増加した。国際シンポジウムでは日本と海外の大学における歯学教育、歯科研究、歯科診療、国際交流等に関する情報交換ができ、今後の国際教育カリキュラムの開発に役立てることができた。さらに、評価委員会を開催し、今後のより充実した事業実施を目指した検討を行った。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

「国際医学研究プログラム」では医学部生3名をタイに4ヶ月間派遣し、「国際歯科医療研修プログラム」では歯学部生をタイに21名、インドネシアとベトナムに各5名、大学院生は14名をタイ、9名をベトナムに派遣した。

○ 外国人留学生の受入れ

医学部では学部学生2名をタイから1ヶ月間、歯学部ではタイ、インドネシア、ベトナムから学部学生計30名を2週間同時期に受入れ、英語による歯科研修プログラムを実施した。また、大学院生をタイから3名、ベトナムから1名受入れた。

	H24	H25	H26	H27	H28
学生の派遣	19	57	40	40	44
学生の受入	25	36	25	25	29

注) H24・H25は実績、H26以降は計画

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

○ 5ヶ国語基本歯科用語集の活用

英語、日本語、タイ語、インドネシア語、ベトナム語からなる5か国語基本歯科用語集を作成し、学生の海外派遣事前研修時や、派遣・受入れプログラム実施期間中に活用し、各国の学生の歯科専門用語の共通理解を促進した。

○ 教育関連アンケート調査の実施

本学歯学部学生全員を対象として国際交流に関する関心度、留学への目的、英語能力等の調査を行った。また、本事業への参加学生を対象としたアンケート調査を実施し、魅力的な国際交流プログラムの提供に役立てた。

■ 教育内容の可視化・成果の普及

日本語及び英語のホームページを作成し、本事業の内容・成果等の情報を国内外に公表・発信した。また、事業内容と成果に関するリーフレットを作成し、関係諸機関に配布している。学術報告としては、本事業参加学生を対象に実施したアンケート調査の結果等を日本歯科医学教育学会において発表した。

TMDU歯科医療研修プログラム
に参加したインドネシア大学学生

